

## サイエンスプログラム1 データサイエンス基礎演習

ミニ発表会 生徒感想 5月17～22日

1年生全クラスが、5月22日までに「サイエンスプログラム1」の授業で書籍を使って調べたことをパワーポイントにまとめ、口頭発表を行いました。「実体験を通して気づくこと」は、「教えられる」よりも実践的で記憶に残る学習です。3人1組で発表をし、互いに改善点を指摘し合った後の生徒の感想から、一部を紹介します。

- 画面ばかり見て、聞き手を意識することができなかったので、これから慣れていきたい。
- 友達の記事の中で、自分のスライドにもこれを入れた方がよかったかもなどの発見がありました。人の発表を聞くことで、もっとよい発表ができるということが分かりました。
- いくつかの項目に分けることで伝わりやすくなると分かった。アニメーションを上手に使えば目を引くプレゼンになると思う。上記2つを取り入れて、今後もがんばりたい。
- 少し緊張しましたが、聞いている2人がリアクションをとってくれて、話している方も楽しかったです。
- 緊張して自分が何を言っているか途中で分からなくなった。しかし、聞き手に質問などをすると緊張が解けてスムーズに進めることができた。
- 最初にクイズを出して、その先の内容に興味を引きつけていた。
- 声の大きさは一番大事。
- リハーサルをしないと、時間が余ってしまった。調べているとどうしても難しい語が出てきてしまうので、それを簡単な語に変換して発表することが大切だと思った。
- 本を見せながら話ができて聞き手に良く伝わったのでよかった。

今回は「百科事典から関心のあるテーマを紹介する」というものでしたが、次は実践です。「益田市行政の取り組み学習」と「地域巡検」を経て、自分の視点で自主的にテーマを決めます。発表も個人ではなく、班で行うことになるので、自分たちの研究にやり甲斐を感じながら、協力してクラス発表会まで進めてほしいと思います。

